

環境経営レポート

2023年度

令和5年8月1日～令和6年7月31日



令和7年5月29日

有限会社山田八興堂

目 次

1. 環境経営方針	2
2. 会社概要	3
3. 対象範囲、レポートの対象期間 及び発行日	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営目標とその実績	5. 6
6. 令和5年度の実績と達成評価	7
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	9
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	10

1. 環境方針

環境経営方針

環境経営に積極的に取り組むために環境経営システムを構築し、全社員が継続的に環境負荷の低減・改善に努め、事業活動に関わる環境関連法規等を遵守し、地球温暖化防止に貢献します。

【環境行動指針】

1. 二酸化炭素排出量削減

- ① 室温の適正化(適時冷房設定温度27℃程度、暖房設定温度19℃程度)維持
- ② 電灯照明及び機械電源の適正使用の推進継続、節電は意識して各
- ③ エアコンフィルターの定期清掃を維持継続する。
- ④ ドライバーは常に安全な適正運転に徹し無事故無違反に努め、エコ

2. 廃棄物排出量削減

- ① 廃棄物の分別仕分の徹底を図り、リサイクルを促進する。
- ② 裏面コピー、裏面メモに活用、紙使用量の削減をおこなう。
- ③ 金属屑は有価物としてリサイクルをすすめる。
- ④ グリーンマーク表示などのあるエコ商品の購入に努める。
- ⑤ 使い切り商品を避け、詰め替え可能商品の購入に努める。

3. 総排水量削減

- ① 蛇口の節水コマを活用する。
- ② 節水啓発表示と各自が節度ある節水に努める。
- ③ 毎月の上水使用量をチェック、漏水の定期的確認を実施する

4. 化学物質の適正管理

- ① 製品安全データシート(SDS)の取得、整備をおこなう。
- ② TSCA及びRoHS等の非含有証明書の取得及び整備
- ③ 廃ウエスからの溶剤揮発の抑止に努める。
- ④ 溶剤使用場所における東京環境測定(株)による定期的環境測定(年

5. 環境教育の充実

- ① 環境保全の意識向上を図るため、全社員に環境に関する
- ② (社)産業環境管理協会が実施する「公害防止管理者」資格取
- ③ 地球環境保全に企業として寄与できる社会活動はないかを
- ④ 有機溶剤業務に従事する者には年2回の特殊健康診断を実施するものとする。

この環境方針は全社員に周知し、一般にも公開します。

制定日 平成21年11月1日

改定日 令和4年8月27日

有限会社山田八興堂
代表取締役 田中 一誠



2. 会社概要

2.1 事業所名及び代表者名

有限会社山田八興堂
代表取締役 田中 一誠

2.2 本社工場の所在地(認証登録範囲該当)

東京都新宿区早稲田鶴巻町4 4 番地

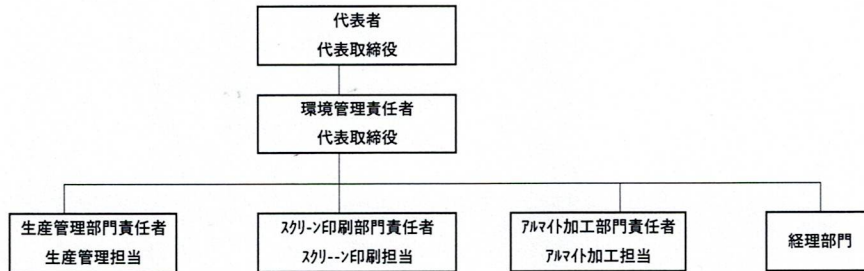
2.3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者兼担当者 代表取締役 田中 一誠
連絡先 電話 03-3208-1471 F A X 03-3208-1643
hakkodo1916@gol.com

2.4 事業活動の概要

スクリーン印刷、アルマイト加工等によるネームプレート(銘板)製品の製造
シール、カッティング文字、ハーフカット加工製品の製造、真鍮のエッチング並びにプレス加工によるシム製品の製造

2.5 会社の組織



2.6 事業の規模

(1)主要製品の出荷額(令和5年度)

主要製品名	出荷額
ケイコメイト類	9 2 百万円

(2)従業員 15名

(3)本社(事業所)の敷地・建築延面積

事業所名	敷地面積	建築延床面積
本社	1 3 5 . 2 4 m ²	3 8 6 . 3 4 m ²

2.7 施設等の状況

(主な機械設備及び車両等)

設備名等	仕様・能力	出力	台数
ロールコーター	ステン製 900×700×1100H	200V×0.24kW	1台
全自動現像機	ステン製 750×3100×1100H	200V×4.0kW	1台
自動研磨機	PVC製 940×1500×1050H	200V×0.9kW	1台
自動洗浄乾燥機	PVC製 1030×1400×1050H	200V×0.7kW	1台
排水処理装置	FRP製 5.0m ³ /日(凝集沈殿法)	200V×3.0kW	1台
油圧シャーリング	半自動 1.23M×t3.2	200V×2.0kW	1台
油圧プレス	半自動 30ton(SPH-30)	200V×2.2kW	1台
片面1軸研磨機	版自動 600×1200×t3.2	200V×4.1kW	1台
熱風循環式乾燥機	ステン製 800×800×1200	200V×12kW	1台
手刷印刷台	SPCC、ステン製2000×900 1000×800	200V	3台
車輛	ワゴン車	1.8ℓターボ	1台



3.対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

- 1)対象範囲：東京都新宿区早稲田鶴巻町4 4 番地 本社所在地 全組織、全活動
- 2)レポートの対象期間及び発行日：表紙に記載

4. 環境目標

令和5年度

環境経営目標設定表

承認	作成
	

作成年月日： 令和6年11月13日

No	環境方針項目	環境目標取組項目	基準値	CO2 換算係数	年度目標		
			(令和3年度実績)		令和5年度	令和6年度	令和7年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 ①冷暖房温度管理の励行 ②エアコンフィルターの定期的清掃 ③節電シール表示による節電意識付	電力使用量 44,613 kWh/年	0.470 (伊藤忠)	基準値に対し 1.0 %削減 44,167	基準値に対し 1.5 %削減 43,944	基準値に対し 2.0 %削減 43,721
		化石燃料消費量の削減 ①灯油=ストーブ暖房こまめな運転管理 ②ガス=設備の使用頻度・時間削減 ③ガソリン=エコドライブによる安全運転 ④ガソリン=燃費の良い車種に買替考慮	<油種別> 油種別消費量		基準値に対し 1.0 %削減	基準値に対し 1.5 %削減	基準値に対し 2.0 %削減
			灯油 <L/年> 288	2.492	285	284	282
			都市ガス<Nm3/年> 387	2.210	383	381	379
			ガソリン <L/年> 1,158	2.322	1,146	1,141	1,135
軽油 <L/年> 2,624	2.624	0	0	0			
	計(kg-CO ₂)		25,190.2 kg-CO ₂ /年	24,938.3	24,812.3	24,686.4	
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減 ①可燃廃棄物量の記録 ② ③	一般廃棄物排出量 279.0 kg/年		基準値に対し 1.0 %削減 276.2	基準値に対し 1.5 %削減 274.8	基準値に対し 2.0 %削減 273.4
		産業廃棄物排出量の削減 ①廃棄物(アルミ端材)のリサイクル推進 ② ③	産業廃棄物排出量 806 kg/年		基準値に対し 1.0 %削減 797.9	基準値に対し 1.5 %削減 793.9	基準値に対し 2.0 %削減 789.9
3	水使用量の削減 <水道使用量: m ³ >	①節水シール表示による節水意識付 ②節水コマ設置・漏水監視 ③	水道使用量 454 m ³ /年		基準値に対し 1.0 %削減 449	基準値に対し 1.5 %削減 447	基準値に対し 2.0 %削減 445
4	化学物質使用量の削減 <化学物質使用量: kg>	①刷版拭取り溶剤の過剰使用抑制 ②使用インキの残りは缶に戻す ③	維持管理 0.0 kg/年		維持管理 0.0	維持管理 0.0	維持管理 0.0
5	グリーン購入の推進 <エコ商品購入額/総購入額>	①エコ商品の購入率の拡大 ② ③	エコ商品購入率 42.83%		エコ商品購入率 43.26%	エコ商品購入率 43.47%	エコ商品購入率 43.69%
6	環境配慮製品・サービスの提供	①アルミ材料の歩留まり改善の検討 ② ③	—		目標の設定 左記記述に同じ	目標の設定 左記記述に同じ	目標の設定 左記記述に同じ
7	環境教育の促進	①公害防止管理者資格取得へのチャレンジ ②エコ検定試験へのチャレンジ ③年に1回以上環境に関する教育実施 ④使用済切手を寄付植林活動に協力			①公害防止管理者資格取得チャレンジ ②エコ検定試験へのチャレンジ ③環境に関する勉強会開催 ④使用済切手を寄付植林活動に協力	①公害防止管理者資格取得チャレンジ ②エコ検定試験へのチャレンジ ③環境に関する勉強会開催 ④使用済切手を寄付植林活動に協力	①公害防止管理者資格取得チャレンジ ②エコ検定試験へのチャレンジ ③環境に関する勉強会開催 ④使用済切手を寄付植林活動に協力

※本環境目標設定表は、毎年度見直すものとする。

5. 環境経営目標とその実績

令和5年度

環境経営目標とその実績

評価 ○…達成 ×…未達成

作成: 令和6年11月13日



環境経営目標項目	計画の内容	推進責任者	担当者	計画・実績	令和5年						令和6年									
					8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月				
					①冷房						①冷房									
①二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	環境管理責任者	全社員	活動予定	②冷房															
					③															
					④															
					⑤															
	2) 化石燃料消費量の削減	<油種別>	環境管理責任者	各使用者	活動予定	①														
						②														
						③														
						④														
						灯油 L	進捗評価	○												
							目標値	4.186	3.562	3.282	3.398	3.298	4.783	3.807	3.594	2.562	3.590	3.814	4.293	
							実績値	4.186	7.748	11,030	14,428	17,726	22,509	26,316	29,910	32,472	36,062	39,876	44,169	
							達成評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
						ガス Nm3	進捗評価	○												
							目標値	15.84	25.74	26.73	40.59	37.62	43.56	47.52	38.61	34.65	18.81	26.73	26.73	
							実績値	15.84	41.58	68.31	108.90	146.52	190.08	237.60	276.21	310.86	329.67	356.40	383.13	
							達成評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
						ガソリン L	進捗評価	○												
							目標値	135.70	112.31	87.16	93.00	105.24	84.70	107.00	64.69	36.47	99.90	103.58	116.28	
							実績値	135.70	248.01	335.17	428.17	533.41	618.11	725.11	789.80	826.27	926.17	1,029.75	1,146.03	
							達成評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
CO2 排出 kg	進捗評価	○																		
	目標値	1,255	1,417	1,341	1,436	1,730	2,024	1,739	1,452	1,217	1,492	1,566	2,099							
	実績値	1,255	2,672	4,013	5,449	7,179	9,203	10,942	12,394	13,611	15,103	16,669	18,768							
	達成評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
②廃棄物の削減	1) 一般廃棄物のリサイクル及び最終廃棄物の削減	環境管理責任者	伊藤	活動予定	①															
					②															
					③															
					④															
	2) 産業廃棄物のリサイクル及び最終廃棄物の削減	環境管理責任者	環境管理責任者	環境管理責任者	活動予定	①														
						②														
						③														
						④														
③水使用量の削減	①節水シール表示による節水意識付	環境管理責任者	全社員	活動予定	①															
					②															
					③															
					④															
水道 m3	進捗評価	○																		
	目標値	69.30	73.26	142.56	228.69	86.13	74.25	74.25	75.24	71.28										
	実績値	69.30	142.56	228.69	228.69	228.69	302.94	302.94	378.18	449.46										
	達成評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○										

環境経営目標項目	計画の内容	推進責任者	担当者	計画・実績	令和5年					令和6年						
					8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月

④化学物質使用量の削減	①刷版拭き取り溶剤の過剰使用抑制	環境管理責任者	各使用者	活動予定	①	←													
	②使用インキの残りは缶に戻す	環境管理責任者	各使用者		②	←													
				化学物質	進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
					目標値														
				実績値															
				達成評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
グリーン購入の推進	①エコ商品の購入品目の拡大	環境管理責任者	環境管理責任者	活動予定	①	←													
	②																		
	③			グリーン購入	進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
					目標値														
				実績値															
				達成評価													×		
環境配慮製品・サービスの提供	①環境配慮製品・サービスの提供はありません。			検討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	②アルミ材料の歩留まり改善			実績	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	③																		
⑤環境教育の促進	①公害防止管理者資格取得へチャレンジ			活動予定			② ←							① ←					
	②エコ検定試験へのチャレンジ							② ←							③ ←				
	③年に1回以上環境に関する教育実施				④	←													
	④使用済切手を寄付植林活動に協力			環境教育	進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			達成評価		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	

令和5年度の実績と達成評価

作成年月日： 令和6年11月20日

						承認	作成	
								
No	環境方針項目	令和5年度	CO2 換算係数	令和5年度	達成評価	令和4年度	令和3年度	
		目標値		実績値		実績値	実績値	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	44,167 kwh/年	0.470	35,804 kwh/年	○	41,924 kwh/年	44,613 kwh/年
		灯油使用量の削減	油種別消費量 285.0 L/年	2.490	295.0 L/年	×	284.0 L/年	288.0 L/年
		都市ガス使用量の削減	383.0 m³/年	2.230	296.0 m³/年	○	330.0 m³/年	387.0 m³/年
		ガソリン使用量の削減	1,146.0 L/年	2.320	1166.4 L/年	×	1,105.2 L/年	1,157.6 L/年
		軽油使用量の削減	0 L/年		0 L/年		0 L/年	0 L/年
		二酸化炭素総合計	24,937 kg-CO ₂		20,804 kg-CO ₂	○	23,674 kg-CO ₂	25,189 kg-CO ₂
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	276.2 kg/年		282 kg/年	×	260 kg/年	279 kg/年
		産業廃棄物排出量の削減 ＜アルミ端材のリサイクル量、有価 kg＞	797.9 kg/年		738 kg/年	○	767 kg/年	806 kg/年
3	水使用量の削減 ＜水道使用量：m³＞	449.0 m³/年		290 m³/年	○	427 m³/年	454 m³/年	
4	化学物質使用量の削減＜化学物質使用量：kg＞	0 kg/年		0 kg/年		0 kg/年	0 kg/年	
5	グリーン購入の推進＜エコ商品購入額／総購入額＞	43.26 %		42.37 %	×	44.80 %	42.83 %	
6	環境配慮製品・サービスの提供 ＜アルミ材料の歩留まり改善＞	データ集積中			○			
7	環境教育の促進	①化学物質管理資格取得へのチャレンジ			○			
		②公害防止管理者資格取得へのチャレンジ			○			
		③年に1回以上環境に関する教育実施			○			
		④使用済切手を寄付、地球環境保全活動に協力			○			

評価：○達成 ×：未達

6.環境活動計画の取組結果とその評価及び令和6年度の取組内容

令和6年11月20日

環境目標	取り組み項目	取 組		
		結果	令和5年度評価	令和6年度取組内容
1.CO2削減 ①電力消費量削減	・冷暖房温度管理の励行	室温適正化につき温度計配置温度管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> 地下公舎浄化装置の操作盤は毎朝起動され終業時には起動電源のOFFが常に確認励行されている。 地下の換気扇はスイッチを切ることなく常時換気されている。 各部屋のエアコンは長時間退室の際には電源OFFにする事は日常的に使用者が適切に管理をおこなっている。 	各階の部署における冷暖房使用温度は適切に維持されている 2階総務室及び3階北側の旧型エアコン2基を省エネエアコンに交換した。また全館の照明蛍光灯を全てLED照明に交換した。冬場は状況に応じ石油ストーブを併用する。2階印刷作業場の環境は夏場過酷になるたクーラー止めることなく使用を推奨。冬場の暖房使用は健康面に特に配慮、各自が節度をもって管理することとする。印刷作業場は常に排出換気が行われているので各自体調に気を配り引き続き温度管理おこなうこととする。
	・エアコンの定期的清掃	冷暖房エアコンの水洗清掃 暖房フィルター等の水洗清掃の実施	使用完了時フィルタの水洗清掃実施は適切に励行されていた。	エアコンのフィルタ清掃は使用開始から3ヶ月を目処に行うこととする。年末大掃除の際は全機フィルタを外し清掃管理する。
	・節電シール表示による節電意識付け	スイッチ横に節電シール貼付	機械運転使用後のブレーカスイッチの遮断は各自習慣化され確実に励行されている。また照明の消灯も適正に励行遵守されていた。退社時に機械等の全ブレーカのOFFチェック確認することの習慣性を評価する	機械使用後はブレーカスイッチの遮断を励行及び照明の適正消灯励行に引き続き取り組む。退社時のブレーカOFFチェック確認の習慣化を身につけ今後も維持継続する
②化石燃料使用量の削減	・急発進、急加速、急停止禁止	アイドリングストップ・エコドライブの励行厳守	ドライブ中はエコドライブに徹底安全運転励行を励行している 外出は無駄のない効率を考えた行動計画をもって燃費の削減に取り組んでいる	引き続きエコドライブで安全運転継続に取り組む。将来的にはエコカー・EV車の購入を検討する。同方面の外出で急がぬ場合は日を遅らせてまとめて回る
2. 廃棄物排出量削減	・廃棄物(可燃物)排出量の記録	記録集計は適正に実施された	令和5年8月から令和6年7月の12ヶ月で約282kg可燃ゴミを排出した	引き続き通年の排出量をもとに削減目標を明確にする
	・廃棄物のリサイクル推進	アルミ端材等令和4年度は合計767kg有価物としてリサイクル	前期から引き続きデッドストックを選別廃棄することを実施し、減量化の取り組みを行った	例年同様端材量の減量は日常的に意識、歩留まりの改善と不良を極力抑えることに引き続き努力する。製品の受注履歴を精査、廃棄物を選別、今後も軽量化を図ることとする 端材等をリユース化、ネット販売(ヤフオク)を試験的に実行した
3. 水道使用量削減	・節水シール表示による節水意識付け	蛇口近くに節水シール貼付	節水シールの意識付け全員に認識励行されている。但しエッチング作業の際は多量の水を流すことを可とする指導	無意識な水の流し放し厳禁、各自が節水意識を常に持って節度ある流水管理を行うこと
	・節水コマ設置 漏水監視	節水コマ設置済み 水道使用量の数値確認	蛇口状況確認、水道使用量に異常な数値見受けず、適正と判断	蛇口状況確認異常時早期対応連絡、水道使用量監視継続
4. 化学物質使用量削減	・化学物質使用量の削減	購入量の管理、使用量の管理実施	購入量の記録把握、使用量の適量使用から異常はなく適正管理されている	購入量の記録把握継続、使用量の適正管理をおこなう。RoHS・REACH・TSCA・紛争鉱物対応の依頼には速やかに依頼主の趣旨を汲み取り対応する
	・化学物質の管理	使用化学物質のSDS完備、	使用化学物質のSDSによる含有量把握完了	使用化学物質のSDSによる含有量の把握と使用数量を記録把握する
5. グリーン購入の促進	・エコ商品の購入	事務用品のエコ商品の購入品目を調査	購入事務用品に占めるエコ商品購入令和4年度44.80%が令和5年度は42.37%と2.43%成果は後退した	引き続きエコ商品の購入を継続、さらなる購入率の改善と、エコ商品目を増やすことに努力する
6. 環境配慮製品・サービスの提供	・アルミ材料歩留まり配慮	歩留まり残存材料余剰部分の有効利用	常日頃残存材料の無駄使いをしない習慣は各担当の身に付いていると判断する	今後も無駄使い削減、細心の配慮に努め取り組みこと
	・納品物、発送物につき主要取引先に関し通い箱を使いゴミ削減に寄与	通い箱、緩衝材を毎月1回以上得意先の(株)アマダの富士宮事業所に出張回収リユースを実施 得意先のアマダオートメーションシステムズにおいては通い箱を用意してもらい宅配便で循環回収リユースを実施	通い箱及び補強当て板等は順調に回収されている。返却を促す観点から当て板には赤字等で要返却の文言記載を引き続きすることとした 同梱のクッション材については社名(山八)を記載、回収して再利用を促す取り組みを引き続きおこなうこととした	通い箱に入れる緩衝材は荷擦れ、曲げを防ぐため適度の密度で工夫して詰めることに引き続き努力する。長尺物についてはベニア当て板でパッドするとともに波板ダンボール等で適宜補強することを励行するものとする。(株)アマダ富士宮事業所へ納品する長尺物は月に1回直接手渡し納入し、補強ベニア板は回収リユースする。 金属端材等を処分せずネット(ヤフオク)で紹介リユース販売を行った

7.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、訴訟等の有無

5.1 環境関連法規の違反

当社に適用される環境関連法規等につきましては、令和5年11月1日遵守状況点検の結果、問題のないことを確認しました。

5.2 訴訟等

当社の環境管理に対する利害関係者からの訴訟又は関係機関などから特に指摘された事項はありませんでした。

環境関連法規等取りまとめ表兼遵守点検表

作成日 : 令和6年11月29日
改訂日 : 令和6年11月29日



作成・改訂時		点検終了時	
承認	作成	承認	作成
			

1. 法規関係

区分	環境関連法規制名	法規制等内容	点検日	遵守状況
廃棄物	②(産業廃棄物の保管基準)	①保管基準 飛散、流失防止対策 ②保管場所の表示板、60cm×60cm 産廃種類、管理者名、連絡先、保管可能量	10月24日	地階の壁面に接着剤で貼付設置管理されている。
	③(事業系一般廃棄物)	ゴミの分別収集	10月24日	ゴミの分別は分別箱毎に適正に処理されている。主たるは可燃ゴミで、排出量は適正管理されている
騒音・振動	東京都生活環境保全等に関する条例第4条	・騒音・振動規制は、東京都条例適用 騒音規制法による届出 振動規制法による届出	10月24日	騒音規制法届出(新宿区公害課)昭和58年6月15日第17号 振動規制法届出(新宿区公害課)昭和58年6月15日第6号
公害防止	東京都公害防止条例 第2条	・工場設置認可 東京都環境確保条例に規定する認定許可	10月24日	工場設置認可 昭和58年6月14日第19号東京都環境確保条例に規定する認定許可 昭和58年6月15日第33号
化学物質	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(P R T R法)	・対象化学物質 第一種指定化学物質 第二種指定化学物質	10月24日	従来購入量の記録からP R T R法対象物質を算出、排出量を把握していたが、現在は指定特定化学物質の非含有溶剤に切り換えたので今後は算出の必要はなくなった。よって、量質において P R T R法届出対象事業者に該当しないので届出は不要。
下水道法	下水道法 第10条	・水質汚濁防止法に規定する特定施設に該当する。 ・公害施設のメンテナンスを毎月業者に委託、最終処理水の分析を併せて委託する	10月24日	特定施設届出 平成14年5月8日第4号 毎月1回処理施設のメンテナンスを行い、排水最終放流口の水を採取分析依頼、計量証明書の発行を受けている。エコアクション21認証取得企業として自主的に環境管理の実施を行っていることみなされ令和6年6月4日下水道宛に令和6年度の水質分析に関する報告書を提出した。下水道局の抜き打ち検査の実施はなかった。
大気汚染	フロン排出抑制法	第一種特定製品(業務用、フロン使用のエアコンなど)機器の点検 エアコン(7.5KW未満)の簡易点検3ヶ月に1回、点検記録作成、保存 室外機処分の際は廃棄処分証明書マニフェストを取得する	10月31日	室内機、室外機を12月最終日清掃の際に外観、異常音等不具合がないか確認する

8.代表者の評価と見直し

令和6年12月24日

代表者による全体の 評価と見直し		承認	作成
			
見直し対象期間	令和5年8月1日～令和6年7月31日		
見直し実施年月日 及び場所	令和6年12月18日二階応接室にて（定期・ <u>臨時</u> ）		
出席者	代表取締役、環境管理責任者		
前回指示の結果	①環境方針・・・現状内容で継続 ②環境目標・・・廃棄物排出量は継続維持管理されている ③環境活動計画・・・具体的各活動内容の取り組みは全般的に継続性をもって維持されている ④環境経営システム・・・継続維持されている		
提出資料名	①環境目標とその実績並びに達成状況 ②環境活動計画の実施状況とその取組結果の評価 ③環境関連法規の遵守状況の点検結果 ④環境コミュニケーション記録(外部からの苦情等受付結果)		
今回の評価	<p>新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類感染症に移行、日本経済はインバウンド需要、企業の設備投資のデジタル化、脱炭素化、人手不足対応等を背景に除々にではあるが回復してきている感はあるが、米国の第二次トランプ政権の関税政策に左右される可能性は高くその影響が懸念される。</p> <p>弊社に関連する産業用機械、工作機械関連は中国の景気後退、経済復調の先行き不透明感から設備投資には、なお慎重な買い控えから足踏み状態が続いている。在庫過多の解消過程で受注の伸びは現状余り見込めない。</p> <p>弊社業績は前年度対比でケイコクメイバン類の出荷額が10.6%減でした。電力の使用量は前年対比14.6%減、ガスは10.3%減、ガソリン使用量は5.5%増の結果となった。電力使用量の減は照明の全館LED化が大きい。</p> <p>置き換え有機フリー溶剤の運用は変更もなく淡々と進められている。印刷現場での溶剤の臭いは大幅に改善されて労働環境、健康環境は良好と言える。年2回の環境測定(株式会社東京環境測定センター)の結果は前回同様第一管理区分(適切)であった。また、年2回の特殊健康診断は励行され、診断結果は受診者4名全員管理区分Aの判定で問題はなかった。引き続き考えながらCO2排出削減に努力を重ねることとします。令和6年4月から化学物質管理者の選任義務が生じたことから遅れてはしまつたが来期には取得することとする。</p>		
変更の必要性 有無	2. 環境目標の変更の必要性（有・ <u>無</u> ） 3. 環境活動計画の変更の必要性（有・ <u>無</u> ） 4. 環境経営システム等の変更の必要性（有・ <u>無</u> ） 5. 実施体制の変更の必要性（有・ <u>無</u> ）		
評価	①環境方針 次年度において資格取得等実効性に乏しき項目は排除するなり見直しをおこなう ②環境目標 廃棄物(可燃物)排出量数量把握の記録の継続維持されていると評価します ③環境活動計画 具体的各活動内容の継続と未達成部分の達成に努め、年度結果において見直す部分があれば見直したい。 ④環境経営システム 変更の必要性はないと評価します		
見直し指示事項			
見直し指示項目	指示内容	改善責任者	期限